

## 世界記憶遺産の炭坑絵師 山本作兵衛展

### 両陛下が世界の記憶を觀賞

5月1日、東京タワー（東京都港区）で開催された「世界記憶遺産の炭坑絵師 山本作兵衛展」を天皇皇后両陛下が觀賞されました。

特設会場には炭坑記録画の原画約60点が展示。会場を訪れた両陛下は、炭坑で使われていたという蒸気機関が描かれた記録画をご覧になると「蒸気だと危険な場合もあったんでしょうね」などと当時の過酷な労働環境に思いをはせられていました。

また、同展覧会開催期間中の4月20日には、東京タワーの入場口付近で市が主催する関連イベント「炭坑節まつり」が開催され、東京の地で「田川市」を大いにPRしました。



▲炭坑記録画をご覧になる天皇皇后両陛下(写真提供:読売新聞社)

## 力強い太鼓の演奏

### 金川中学校太鼓同好会

4月28日、金川中学校太鼓同好会の亀田紗奈さん、田中こはるさん、山下彩水さんの3人が、夏吉地区で息の合った太鼓の演奏を披露しました。

平成7年に発足した同太鼓同好会では、毎年この時期に行われる神幸祭にあわせて太鼓の演奏を披露。力強い太鼓の音に会場からは大きな拍手が送られました。3年前からは同時に募金活動も行い、今回は交通遺児の支援を行っている公益財団法人交通遺児育英会に18,284円を寄付しました。

同太鼓同好会リーダーの亀田さんは「初めて人前で演奏したので緊張しました。募金活動ではみなさんにやさしくしてもらってうれしかった」と充実した表情で話しました。



▲練習の成果をばちに込めて、太鼓を演奏する生徒たち

## 福岡県立大学と田川市郡1市6町1村

### 包括連携協定を締結

5月2日、福岡県立大学と田川市郡1市6町1村との包括連携に関する協定の調印式が福岡県立大学で行われ、福岡県立大学の柴田洋三郎学長や伊藤信勝市長のほか、田川郡の町村長などが出席し、協定書に署名しました。

この包括連携協定の締結により、現在でも行われている県立大学と各自治体との連携がさらに強化され、また、田川市郡が一体となってさまざまな事業に取り組むことで、地域共通の課題解決が期待されます。

柴田学長は「地域や社会に貢献することが大学としての使命。連携を図りながら調査や研究を行い、田川市郡全体の活性化につなげていきたい」と話しました。



▲県立大学と田川市郡1市6町1村が固い絆で結ばれました